

がまごおり 議会 だより

● 9月市議会定例会 ●

- 一般質問…ここが論点…………… 2～5
- 議決された主な議案…………… 6～9
平成19年度決算を認定
- 委員会通信
委員会の行政視察報告…………… 10～11
- 議会日誌、12月定例会予定…………… 12

NO. 58
2008.11



一般質問…ここが論点

9月定例会

9月市議会定例会中、8日、9日、10日の3日間で、市政全般について14人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、9月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも12月上旬の予定です。

また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。

防災訓練



伊藤勝美（公明党）

総合防災対策について

問 避難所施設でのエコノミー症候群の防止対策をどう考えるか。

答 避難所の床を畳敷きにする。1人当りの空間を多くする。避難生活者のコミュニケーションを図ることが重要だと思う。

問 耐震改修が進まない中で、簡易耐震シェルターが最近開発されたが、助成制度を作れないか。

答 安価な改修方法として有効と思われる。今後は、啓発方法と助成制度を検討したい。

問 防災訓練を、冬季に実施するつもりはないか。

答 冬季での対応や経験も必要と思うので、参加団体や関係機関との調整を行いたい。

- その他の質問
- 1 緊急地震速報受信装置
 - 2 ボランティアア支援本部
 - 3 携帯カメラの活用
 - 4 水防計画の見直し

松本昌成（公明党）

財政健全化比率について

問 決算に関する財政指標として、健全化判断比率を算定することになったが、結果をどう捉えるか。

答 4つの財政指標と公営企業の資金不足比率は、すべて基準値内であった。財政健全化計画に、それぞれ目標値を設定し、改善に向け努力していく。

問 目標値の達成状況とその可能性はどうか。

答 人件費の増加と借入金償還が原因で、経常収支比率等が目標値を達成していない。毎年検証を行い、予算編成に活用していく。

雇用促進住宅の譲渡・廃止問題

問 今年、拾石住宅が廃止決定されたと聞くが、市が購入する予定はあるか。

答 築38年で使用期間が限られること、老朽化による維持費増など問題は多いが、売却価格等条件提示があれば検討していく。

大向正義（未来の会）

蒲郡市医師会の訴訟について

問 現在までに2回開催された公判内容と今後の予定について伺う。

答 第1回公判は、訴状等の陳述がされた。第2回公判では、15年度実績額の算出経緯を記載した書面を提出した。次回は10月15

保健医療センター



日だが、医師会側から6年分の経費の提出がされる。市の実施する人間ドック事業について

問 最近の赤字状況はどうか。その赤字をゼロにするために市内の民間医療機関や医師会に事業を任せ過ぎではないか。

答 過去5年間の累積赤字は約4億2千万円である。民間医療機関は申出の時点で考えるが、医師会直営は打診してみたい。

問 事業廃止するための議員立法を考えているが、市の判断で廃止はあるか。

答 市民の健康保持のため継続していく。

喚田孝博（市政クラブ）

集中豪雨での災害応急対策と今後の取組みは

問 8月29、30日の集中豪雨での災害応急対応は適切であったか。

答 風水害等災害対策計画に基づき対応したが、情報収集伝達などの対応にいくつか反省点はあった。計画にある防災カルテをどのように活用していくのか。



集中豪雨によるがけ崩れ（23号線）

答 どのような場所でも、どういった被害が発生したかという事実をとりまとめ、今後の防災対策に役立てていきたい。

問 浸水マップの作成に取り組んでいくのか。

答 どういうものか、他市の事例などを研究していきたい。

障がい者の歯科治療を

問 障がい者歯科診療所を設置する考えはあるか

答 いろいろと問題はあるが、歯科医師会と協議し、実現させていきたい。

鎌田篤司（市政クラブ）

蒲郡市の財政課題と財源確保について

問 今後、多額の費用を必要とする事業は、どのようなものを考えているか

答 病院の繰出金以外に新消防庁舎の建設、クリーンセンター焼却炉改造工事、小中学校校舎耐震補強工事等が予定されている。

問 これらの財源をどのように確保していくのか

答 市税収入、事業に伴う補助金・起債などで賄うのが望ましいが、競艇の収益に頼らざるを得ない。

温暖化へ向けての産学官の連携は

問 愛知工科大学の研究グループによる廃食油のバイオ燃料化での産学官の連携の可能性はあるか。

答 「がまごおり産学官ネットワーク会議」に情報が寄せられ、工科大学の活動が産学官の連携で実施されれば、新しい技術、ビジネス、サービスが生まれてくることを期待している。

小林優一（未来の会）

電子申告システムの導入は

問 市税の電子申告導入の進捗度はどうか。また、今後の導入の予定はどうか

答 国税では成果をあげているが、地方税では電子化は進んでいない。

21年度に必要な予算措置を行い、実施に向けた準備を進める予定である。

市民病院問題の情報開示と民意の集約を

問 市民に現在の病院の状況を正確に伝える必要があると思うか。

答 不安を助長し悪い風評が流れる懸念もあるので、慎重に行う必要がある。情報を伝える手段としてタウンミーティングを開くことを考えているか

答 現時点では、すぐ開く意向はない。



市民病院

問 市民の意思を確認するため住民投票を行うことはどう考えるか。

答 関係各課と調整を図りつつ対応していきたい。

竹内政住（市政クラブ）

中部土地区画整理事業の進捗状況は

問 事業計画で示された平成29年完了に向けてどのように事業を進めていくのか。長期の建築規制を受けている権利者に対して何らかの配慮はあるのか。

答 少しでも早く事業が完了するように、3年は10億円近い予算を投入していきたい。長期の権利制限に対する配慮については、課税面での軽減対策を税務収納課に検討させたい。

問 都市計画道路3路線（本宿線、国道247号中央バイパス、蒲郡環状線）の現状と今後の予定は。

答 本宿線については、平成24年度までの完成を目指している。国道247号中央バイパスについては、平成23年度の全線供用開始

を目標にしていると県から聞いている。蒲郡環状線については、本宿線の東側と西側について、地元から要望をいただいている。市道清田前田葉蒲1号線の工事に本年度から着手する。

飛田常年（市政クラブ）

蒲郡市の農業振興について

問 西大塚地区基盤整備事業の進捗状況とこれらの予定はどのようなか。

答 平成20年8月12日に地権者全員の同意書が市に提出された。今後は基礎



調査、調査設計と事業計画書の作成、県からのほ場整備の認可申請を受け、換地設計と実施設計へと入っていく。工事については平成23年度から25年度の間に行い、平成26年度に換地処分となる予定である。

問 農業と観光を結びつける事業について、何か考えているか。

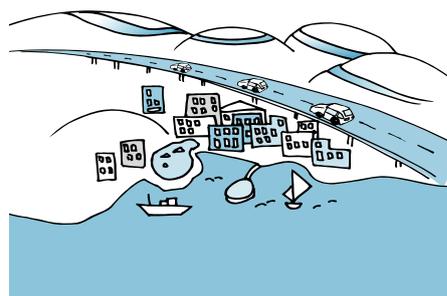
答 体験農園、もぎり園、オーナー園、市民農園等を計画していきたい。以上の計画については、西大塚のほ場整備に合わせ、農協と連絡を取り合って計画作成をしていく。

その他の質問
1 原油価格高騰対策と補助事業について

柴田安彦（日本共産党）

中部土地区画整理事業について

問 移転戸数118戸を見のがしていた市の責任は重い。地権者に説明会を開くべきではないか。



答 8月末に事務的ミスのおわびと事業計画変更の主な内容をお知らせした。陳情書を提出された権利者には、個別訪問をして事情を伺いたい。固定資産税の軽減が可能であれば説明会を開催したい。

問 移転補償のない127戸の方には、建てかえを認めるべきではないか。

答 今までそういった通知はしてこなかった。今後何らかのお知らせをする。

問 いち早く換地を使える対策を取るべきだ。地権者の希望を聞いて、仮換地変更などを行うべきではないか。

答 仮換地の変更はこれまでに42件行った。いろ

いろな条件に合致しなければならず、たいへん困難で審議会の了承も必要だが、取り組んでいく。

日恵野佳代（日本共産党）

保育園の民営化について

問 みどり保育園の保育の質が保たれていないと父母から議員、市長に印刷物が届いている。覚書は守られていると考えるのか。

答 宝光福祉会は、市との覚書を守り、魅力ある保育園を運営したいと考えていると理解している。

問 鹿島保育園の保護者から、民営化中止を求め



みどり保育園

る手紙が送られてきた。この声をどう受けとめたのか。

答 重箱の隅をつつくようなことはやめて、もう少し長い目で見ていただきたい。保育園の民営化は予定通り進めさせていただく。

漁業者に対する燃油高騰対策は

問 燃油高騰に対する市独自の支援策を実施すべきではないか。

答 本年度中に、三谷、形原、西浦の3隻の漁船を使って省エネ装置導入の実証実験を実施したい。

新実祥悟（無党派）

女性の政治への参画

問 子ども会やPTAの会長での経験は、政治に関心を持つきっかけになり、意識しなくても政治に参加しているとも言える。この視点から女性会長をつくるべきと考えるがどうか。

答 規約では男性、女性と

ろな会や地域での積極的な女性の活躍を切望している。

問 総代や常会長のような地域の管理職に女性は一人もいないが、女性を増やそうという考えはあるか。また、働きかけをしたことがあるかを伺う。

答 可能な限り女性が増えている。総代会に女性の総代や常会長の話をしたところ、理解できるとの返事はあったが結果としてまだ女性が役員になってはいない。

その他の質問

- 1 蒲郡市の将来像
まちづくりについて

伴 捷文（市政クラブ）

宿泊客2割アップを達成するための計画は

問 市長マニフェストの4年間で宿泊客2割アップという目標を達成するための今現在の計画を伺う。

答 観光課を分離独立させ観光協会に民間の会長と民間の観光業界出身者を

西浦温泉



2名配置した。また、年次計画を定め、年度毎の数値目標を掲げた。今後の事業展開を強力に進めるため、観光協会の企画推進委員を中心とした6部会で具体策を検討している。

新たな民間の発想により商品開発を行い、目標達成されるよう努めていく。

集中豪雨による河川の氾濫について

問 河川暗渠入口のスクリーンに草が張り付き目詰まりしたことで河川が氾

濫した。今後の対応を伺う。

答 月2回の点検を実施し、大量のごみ等があるときは撤去する等、管理体制を整えていきたい。

荘田博己（未来の会）

8月29日の集中豪雨災害について

問 予測していない豪雨でも甚大な被害が発生した。この経験を今後活かさなければならぬ。

答 土のうを渡すという作業でも対応が異なったようだが、どのようであったか。これまで消防は、地元総代の要請で土のうを

渡していた。今回、災害対策本部は緊急性があるため総代を通さなくてもよいと判断したが、この辺の連絡がうまくできなかった。

問 市職員の非常招集では、高齢の課長級以上が1次配備されるが、動ける若手職員中心にしたらどうか。

答 1次配備招集時に、実際に防災活動ができる職員を配置する等、出動要請の人選を検討する必要があると考える。

その他の質問

- 1 設楽ダム建設に伴う蒲郡市の負担について
- 2 市の補助金について

大場康議（市政クラブ）

プラスチック製容器包装の回収について

問 市内全域に広げる予定と聞くが、どのように進めていき、どの程度の費用を考えているか。

答 平成20年10月から形原の一部、西浦、拾石、鹿島で実施する。今年度の

費用は1600万円と見込んでいます。全市で実施する場合は5000万円と見ているが、状況によって金額が増えることも予想される。

原油高騰に対する公用車の省エネの考えは

問 市が保有する公用車の更新時期と、更新するときの省エネの考えを伺う。また、プロパンガスの導入についてはどうか。

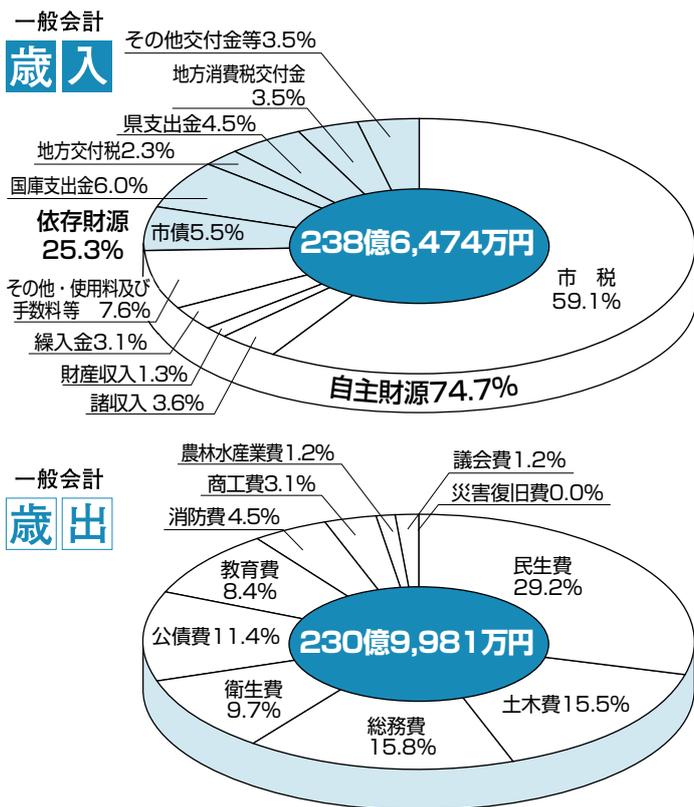
答 概ね10年以上使用している公用車を整備状況を見ながら更新を考えている。更新する場合は、普通商用車・乗用車は燃費のよい軽自動車を取り替えている。プロパンガスの導入は今後研究していきたい。



平成19年度一般会計決算 などを議決



9月市議会定例会は、9月8日から26日までの19日間の会期で開き、議案30件、請願2件、意見書案5件、陳情4件を審議しました。
平成19年度決算の認定など、その主な内容をお知らせします。



平成19年度 決算

| | 歳入 | 歳出 |
|------|----------------|---------------|
| 一般会計 | 238億6,474万円 | 230億9,981万円 |
| 特別会計 | 1,671億8,129万円 | 1,657億8,153万円 |
| 企業会計 | | |
| 水道事業 | 収益的 18億8,352万円 | 17億8,973万円 |
| | 資本的 1億255万円 | 8億5,562万円 |
| 病院事業 | 収益的 74億8,977万円 | 79億8,155万円 |
| | 資本的 3億7,596万円 | 5億1,766万円 |

※企業会計は、消費税を含んだ金額。1万円未満は四捨五入。

平成19年度一般会計決算は、前年比99・7%、歳入は同98・0%でした。

歳出前年度比 99.7%

●一般会計決算

は次のとおりです。

決算委員会での主な質疑は次のとおりです。

■歳出

子ども110番 3万円の黒字です。

決算審査 特別委員会から

特別会計決算(事業別内訳)

単位:万円 (四捨五入)

| | 歳入 | 歳出 | 差引 |
|-------------|-------------|-------------|---------|
| 国民健康保険事業 | 80億6,341 | 78億4,154 | 2億2,187 |
| 老人保健 | 62億6,743 | 62億6,654 | 89 |
| 介護保険事業 | 42億8,307 | 42億3,877 | 4,430 |
| モーターボート競走事業 | 1,436億3,283 | 1,429億3,376 | 6億9,907 |
| 土地区画整理事業 | 17億370 | 15億4,488 | 1億5,882 |
| 公共用地対策事業 | 2億4,063 | 1億3,662 | 1億401 |
| 下水道事業 | 29億3,068 | 27億7,808 | 1億5,260 |
| 三谷町財産区 | 4,659 | 3,133 | 1,526 |
| 西浦町財産区 | 1,295 | 1,000 | 295 |

※決算認定——議会が一般会計年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、内容を審査した上で確認し、認定することであり、議決事項の1つです。

9月定例会の日程

| | |
|-----|---|
| 8日 | 本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、一般質問など〕 決算審査特別委員会 |
| 9日 | 本会議〔一般質問〕 |
| 10日 | 本会議〔一般質問〕 |
| 11日 | 総務委員会 |
| 16日 | 文教委員会 |
| 18日 | 決算審査特別委員会 |
| 19日 | 決算審査特別委員会 |
| 22日 | 決算審査特別委員会 議会運営委員会 |
| 24日 | 決算審査特別委員会 |
| 26日 | 本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕 |

問 申し込みをする人は体が余り丈夫でない人もいる。こういった人たちが申し込みをしたいと窓口に見えた場合、受付期間前でも受け付ける体制が必要だと考えるがどうか。

答 開催するかが決まっていな段階で受け付けをするのは困難だと思う。ある程度は柔軟な受け付けを今現在行っている。原則的には、広報発行後に慎重に受け付けをしていきたい。

問 団塊の世代が退職し、市民農園や自己菜園での耕作を希望される方が増えてくると思うが、どのように対応していくのか。

答 今年、県主催の研修会を豊岡町で実施している。たいへん人気があるので、来年も引き続き行っていきたい。農家でない方は農地を取得できないので、市でももう少し大きな市民農園を用意して、貸し出していきたい。

問 観光ビジョンを策定したが、実施事業、成果について、一般市民等にも広くわかるような検証が必要であると考えるがどうか。

答 観光交流ウィーク、観光

問 観光ビジョンを策定したが、実施事業、成果について、一般市民等にも広くわかるような検証が必要であると考えるがどうか。

答 観光交流ウィーク、観光

問 環境にやさしい太陽光発電や太陽熱利用を積極的に推進していくのか。

答 積極的に推進していきたいと思うが、太陽光については200万円から300万円というお金がかかり、新築でないとそこまでのお金が出せないのではないかと考えている。太陽熱については、20万円から35万円くらいで安く、既存住宅でも付けられるので推進していきたい。

問 環境にやさしい太陽光発電や太陽熱利用を積極的に推進していくのか。

答 積極的に推進していきたいと思うが、太陽光については200万円から300万円というお金がかかり、新築でないとそこまでのお金が出せないのではないかと考えている。太陽熱については、20万円から35万円くらいで安く、既存住宅でも付けられるので推進していきたい。

問 環境にやさしい太陽光発電や太陽熱利用を積極的に推進していくのか。

答 積極的に推進していきたいと思うが、太陽光については200万円から300万円というお金がかかり、新築でないとそこまでのお金が出せないのではないかと考えている。太陽熱については、20万円から35万円くらいで安く、既存住宅でも付けられるので推進していきたい。



おもてなしハンドブック

問 観光ビジョンを策定したが、実施事業、成果について、一般市民等にも広くわかるような検証が必要であると考えるがどうか。

答 観光交流ウィーク、観光

問 消防団員が安心して消防活動に出動してもらうために、欠勤扱いにならずに、

問 地方交付税が当初予算額の8億8000万円の

● 最近3か年のモーターボート繰出金

単位：万円

| 年度 | | 平成19年度 | 平成18年度 | 平成17年度 |
|------|-------|--------|--------|---------|
| 一般会計 | | 0 | 0 | 0 |
| 特別会計 | 下水道事業 | 0 | 0 | 3億1,200 |
| 企業会計 | 水道事業 | 0 | 0 | 0 |
| | 病院事業 | 18億 | 6億 | 0 |
| 合計 | | 18億 | 6億 | 3億1,200 |

7485万円で、前年度比45・5%の増、利用人員も

●モーターボート競走事業
特別会計

62・4%にあたる約5億4900万円の収入済額となつたのはなぜか。
答 地方交付税の算定は、内閣の地方財政計画によって決められ、県を通じて情報が入ってくるという状況にある。平成19年度においては、改正内容の細部をつかみ切れなかったことが、減収の原因の一つであったと思つている。

「ふるさと納税制度」が創設されました。それに伴い、

●ふるさと納税制度を導入
(第61号議案)

条例の制定

地方税法の改正により、

●病院事業会計

経営収支の状況は、5億6432万円の純損失を計上し、当年度未処理欠損金は94億5422万円に増加しています。

●水道事業会計

経営収支の状況は、総収益は6068万円の純利益を計上し、当年度未処分利益剰余金は1億9717万円です。

郷土に愛着を持ち、魅力ある蒲郡の発展を願い応援しようとする方々からの寄付を募り、收受した寄附金を受け入れるために、ふるさと蒲郡応援寄附金条例を制定しました。

●中央子育て支援センターを開設
(第63号議案)

子育て家庭の負担感を軽減し、地域全体で子育てを支援する機運を高めるため、10月1日から八百富町(旧市民病院院内保育所)に中央子育て支援センターが開設されます。

利用できる対象者は、子育て家庭の保護者と概ね3歳未満の乳幼児です。開所日時は、月曜日から金曜日の午前10時から午後3時までです。

意見書

- ①学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める意見書
内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣
- ②国の私学助成の増額と拡充に関する意見書
内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣
- ③愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書
愛知県知事
- ④道路整備の促進と財源の確保を求める意見書
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣
財務大臣、国土交通大臣、経済財政政策担当大臣
- ⑤深刻な医師不足の解消を求める意見書
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣
文部科学大臣、厚生労働大臣、愛知県知事

(○内の数字は、意見書案番号。④は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。)

陳情

- 学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める陳情書
提出者 蒲郡市教員組合
執行委員長 小田 高久氏
ほか378名
審査結果 採択
- 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
提出者 山田 眞右氏
審査結果 採択
- 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
提出者 山田 眞右氏
審査結果 採択
- 市町村独自の私学助成の拡充を求める陳情書
提出者 山田 眞右氏
審査結果 聞きおく

その他の議案

●工事請負契約の締結(汚泥供給設備等新設工事)
(第66号議案)

クリーンセンターに汚泥供給設備等を新設するため、荏原エンジニアリングサービス株式会社中部支店と工事請負契約が締結されます。契約金額は3億9375万円です。8社による指名競争入札により決められました。工期は契約締結日の翌日から平成22年2月28日までです。

9月定例会で審議された議案の一覧

○条例の制定・改正

- ⑤7 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- ⑤8 市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の制定
- ⑤9 市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ⑥0 中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- ⑥1 ふるさと蒲郡応援寄附金条例の制定
- ⑥2 なくそう犯罪安全なまちづくり推進条例の一部改正
- ⑥3 中央子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の制定
- ⑥④ 市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正

○決算

- ⑥7 平成19年度一般会計歳入歳出決算の認定
- ⑥8 平成19年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑥9 平成19年度老人保健特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦0 平成19年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦1 平成19年度モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦2 平成19年度土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦3 平成19年度公共用地対策事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦4 平成19年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦5 平成19年度三谷町財産区特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦6 平成19年度西浦町財産区特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦7 平成19年度水道事業会計決算の認定
- ⑦8 平成19年度病院事業会計決算の認定

○補正予算

- ⑦9 平成20年度一般会計補正予算(第2号)
- ⑧0 平成20年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ⑧1 平成20年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ⑧2 平成20年度モーターボート競走事業特別会計補正予算(第1号)
- ⑧3 平成20年度病院事業会計補正予算(第1号)
- ⑧4 平成20年度一般会計補正予算(第3号)

○同意

- ⑥4 教育委員会委員の任命

○その他

- ⑥5 市道の路線認定、廃止及び変更
- ⑥6 工事請負契約の締結について(汚泥供給設備等新設工事)
- ⑥⑥ 市議会会議規則の一部改正

(○内の数字は議案番号。ただしローマ数字は議員提出議案。⑥7、⑥8、⑦1、⑦2、⑧2は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。)

請願

①設楽ダム建設事業負担金に関わる請願書

提出者 稲石 省三 氏ほか826名
審査結果 不採択

②後期高齢者医療制度の廃止を求める請願書

提出者 社会保障を充実させる蒲郡の会
代表世話人 千葉 祐二 氏
審査結果 不採択

(○内の数字は、請願番号)

9月定例会で議決された平成20年度補正予算(千円)

| 会計名 | 補正の主な理由 | 補正額 | 歳入・歳出予算の総額 |
|----------------------|--------------------------------|-----------|-------------|
| 一般会計(第2号) | 施設園芸省エネルギー化推進事業費補助金(6,028千円) | 106,150 | 22,796,640 |
| | 道路新設事業費追加(30,930千円) | | |
| | 蒲郡駅周辺整備事業費追加(9,000千円) | | |
| | 小中学校校舎耐震補強事業費(25,030千円) | | |
| | 学校給食運営事業費追加(14,582千円) | | |
| 一般会計(追加)(第3号) | 8月29日、30日の集中豪雨による被害における災害復旧費追加 | 57,150 | 22,853,790 |
| 国民健康保険事業特別会計(第1号) | 療養給付金交付金返還金追加 | 23,980 | 7,832,480 |
| 介護保険事業特別会計(第1号) | 国庫支出金等返還金追加 | 18,650 | 4,622,750 |
| モーターボート競走事業特別会計(第1号) | 専用場外発売事業費追加 | 2,591,650 | 139,961,650 |
| 病院事業会計(第1号) | 委託料更正減(△19,110千円) | △610 | 11,748,490 |
| | 交際費追加(500千円) | | |
| | 器械備品購入費追加(18,000千円) | | |

委員会通信

新消防庁舎の建設について

9月11日に開かれた総務委員会において、新消防庁舎の建設についての報告がありました。

新庁舎は鉄筋コンクリート造4階建てで、7月18日に建築確認申請を提出しました。10月末には建築を許可される予定です。

11月末に工事請負契約を締結し、平成21年1月から平成22年2月の期間で建設し、平成22年4月から運用



される予定です。

●総務委員会での主な質問

問 消防署北側の道路の中央分離帯の切り方が少ないように思うが、どういう理由か。

答 公安委員会から、緊急車両が現場に出動する場合の右折のみ許可されたため、中央分離帯の切り方が少なくなっています。

問 車庫の車と車の間は、十分な広さが確保されているのか。

答 ほとんど弊害のない広さが確保されています。

市民病院改革プランについて

9月16日に開かれた文教委員会において、市民病院改革プランの概要についての中間報告がありました。

改革プランは「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態見直し」の3つの視点で策定されることとされており、地域医



療の確保の観点からは特に「再編・ネットワーク化」が重要であるとの報告がされました。

今後のスケジュールは10月末までに県へ改革プランの案を提出します。その後、県から「最終案に対する意見」が送付され、市民病院改革プランを決定し、平成21年3月に公表する予定となっています。

委託料精算金請求訴訟について

9月16日に開かれた文教委員会において、8月20日に名古屋地裁豊橋支部で開

かれた蒲郡市医師会に対する委託料精算金請求事件の第1回弁論準備手続についての報告がありました。

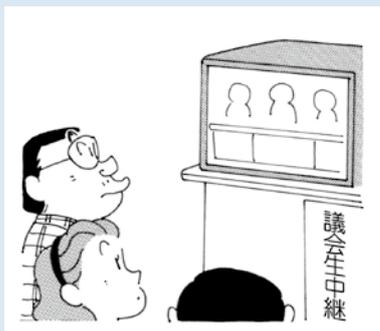
原告である蒲郡市からは、平成15年度の返還金額を約2553万円とする経緯の記載された書面などが提出されました。被告である医師会からは書面の提出はありませんでした。

その後、被告である医師会が精算資料の作成をスタートさせることになり、次回は10月15日の午前10時から非公開で第2回弁論準備手続が開かれます。

議場放映モニター

市議会では、議会の様子を放映するためのモニターを1階ロビーに設置し、本会議開催中の議場の様子を生中継しています。

モニターによる放映は、次回12月例会でも引き続き行いますので、市役所に寄られた際にはぜひご覧ください。



会議録の検索と閲覧

市議会本会議と常任委員会の会議録をインターネットでご家庭から閲覧・検索することができます。ぜひ、ご利用ください。

◎ 会議録の検索と閲覧

<http://gikai.city.gamagori.aichi.jp/>



委員会の行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、7月に議会運営・総務・経済・文教の各委員会が行政視察を行いました。その概要をお知らせします。

●総務委員会 7月14日～16日

総務委員会は、7月14日から16日にかけて、沖縄県那覇市、浦添市、宜野湾市を視察しました。

那覇市では、経営改革アクションプランの中で市民協働が積極的に取り入れられていることに委員の関心が集まりました。浦添市では、地域通貨「察度」を使った協働のまちづくり事業について勉強しました。宜野湾市では、男女共同参画事業の説明を受け、女性が積極的に社会進出している沖縄県の現状を実感しました。

事業の説明を受ける(宜野湾市)



●文教委員会 7月14日～16日

文教委員会は、7月14日から16日にかけて、秋田県男鹿市、秋田市、北海道函館市を視察しました。

今年2月に市民病院の経営健全化プランを策定した男鹿市では、プランの概要説明を受けました。秋田市では、市独自の在宅子育てサポート事業と駅前に整備された子ども未来センターの視察を行いました。函館市では、文化活動での学校開放と医師確保対策、経営健全化など先進の市立病院改革の取組みについて伺いました。

子ども未来センターを視察する(秋田市)



●議会運営委員会 7月9日、10日



議会基本条例の説明を受ける(銚田市)

議会運営委員会は、7月9日、10日に茨城県銚田市、千葉県我孫子市を視察しました。視察項目は、銚田市が議会基本条例、我孫子市が議会改革についてです。

銚田市の議会基本条例の制定については、スピード感を持って対応されたことの報告がありました。

我孫子市では、各議員の賛成・反対の採決を、押しボタンで議場内の大型ディスプレイに表示できる「採決表示システム」が導入されており、一般質問での質問席は、市長と対面できる位置に設置されていました。

●経済委員会 7月22日～24日



企業誘致事業の説明を受ける(霧島市)

経済委員会は、7月22日から24日にかけて、福岡県福岡市、熊本県荒尾市、鹿児島県霧島市を視察しました。

福岡市では、福岡競艇の運営状況や施設改善等の説明を受けました。荒尾市では、商店街の若い人が中心となり、地域の雇用創造と地域経済の活性化を図る地域再生事業を伺いました。霧島市では、企業誘致のために市が積極的に事業を推進し、多くの企業を誘致してきたその取組みについて勉強してきました。

議会日誌

7月17日から10月8日

7月

22日～24日

経済委員会行政視察

8月

1日 文教委員会

11日 市民病院問題検討会

25日 議会運営委員会理事会

28日 9月定例会招集告示

議案説明会

議会運営委員会理事会

9月

2日 議会運営委員会

8日～26日

9月定例会

22日 議会運営委員会理事会

議会運営委員会

26日 議会だより編集委員会

10月

8日 議会だより編集委員会



12月定例会の 開会日・日程は

12月市議会定例会は、12月4日(木)から開かれる予定です。

詳しい日程は、12月1日(月)に開かれる予定の議

本会議の録画放映と 常任委員会会議録の公開

今年度からインターネットで本会議すべての録画放映を行っています。

また、同じく今年度から常任委員会の会議録を公開しています。各委員会に付

また、本会議の日程と一般質問の内容は、市役所のロビーや市議会ホームページでもお知らせします。

点字版とテープ版も 発行しています

がまごおり議会だよりは、目の不自由な方向けに、点字版とカセットテープ版を発行しています。

点字版は、点訳奉仕グループ「あい」の皆さん、カセットテープ版は、ボランティアグループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

託された議案、請願などについて細かな説明、質疑等が行われています。いずれも市議会のトップページからリンクできますので、ぜひ一度ご覧ください。



本市も8月29・30日にかけて、観測史上最大の集中豪雨にみまわれ、床上、床下浸水や土砂崩れや落雷の被害に多くの市民の皆さまが遭われました。まずもって被災された皆様方には、心からのお見舞いと早期の復旧をお祈り申し上げます。なお、復旧対策として9月定例市議会では、災害復旧費5,700万円余りの補正予算を全会一致で可決いたしました。

さて、今議会の新たな取り組みとして、決算審査特別委員会では、開会時間の午前10時を9時開会に、審議期間の3日間を4日間に見直して日々活発な決算審査が展開されました。

また、本会議インターネット録画中継も一般質問のみから、開会より閉会までの放映に変更して2度目の中継となりました。今後とも多くの市民の皆さまに臨場感あふれる質疑応答の録画中継をご覧頂きますようお願い申し上げます。

議会のことば — 意見書

意見書とは、地方公共団体の公益に関する事件に関し、議会が地方公共団体の機関としての議会の意思を意見としてまとめた文書のことをいいます。

市民生活に関わる身近なことでも、それが国や県の仕事であるなど、市の力だけでは解決できないこともあります。このような場合には、市議会が議会の意思として、意見書を国会又は関係行政庁に提出して解決を求めることができます。

本市議会9月定例会において「深刻な医師不足の解消を求める意見書」など5件の意見書が提出され、質疑、討論、採決を経ていずれも可決され、議長名で衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣などに提出されました。